

お祭りでんでん館の情報や、八代市のお祭りや民俗芸能の魅力を発信！

DENN DEN

Take Free

PRESS

2023
1
January
No.13

民俗芸能の魅力紹介

植柳盆踊りと棒踊り

- Uyanagi bonodori & bouodori -

現

在、お祭りでんでん館2階お宝ギャラリーにて、植柳地区で傳承されている植柳盆踊りと棒踊りを紹介しています。

植柳盆踊りは、お盆の8月14日の夜に行われる盆踊りで、盆に戻ってくる先祖を供養するものです。楽器を用いず口説きだけで踊られ、歌われる口説きの中には植柳を舞台にした心中物語があります。以前は踊り手は、浴衣や洋服など自由な服を着て、顔は手ぬぐいなどで隠して踊る人がほとんどでしたが、現在は男女と

も頭巾や網笠で顔を隠し、白装束に黒帯を締めたよそおいで踊ります。顔を隠すことによって先祖の霊に変装するといわれています。

植柳棒踊りは、5尺(約1.5m)の檜製の棒を使って踊る芸能で、雨乞いや祝賀の場などで踊られてきました。本来は、男性による踊りですが、担い手不足もあり、現在では男女に関わらず盆踊り保存会によって3種類の踊りが継承されています。

【裏面 お祭りでんでん館 展示案内につづく】



お祭りでんでん館 展示案内

お祭りでんでん館 2階 お宝ギャラリーにて展示中 4/9まで

今回の展示では、植柳盆踊りで歌われる口説きの歌詞を書いた「口説き本(写本)」や盆踊りの衣装、棒踊りに使用される棒や衣装を展示しています。また、パネルによる植柳地区の歴史の紹介や植柳盆踊りの映像(約20分)も見ることができますので、ぜひみなさまのご来館をお待ちしています。



↑ 植柳盆踊りをマネキンで再現。今にも踊りだしそう…!



↑ 植柳地区の歴史の紹介と盆踊りの映像を観ることができます。



↑ 棒踊りの棒と衣装
棒の長さは5尺(1.5m)。
実際に見ると迫力があります。

植柳盆踊りの衣装の着付けは、植柳盆踊り保存会の方々に行っていただきました。また、腕の角度も踊りの振り付けに合わせています。みなさんもポーズをとって、一緒に写真を撮ってみたいはいかがでしょうか。



今月の水引幕 - 笠鉾 狸々 - ひらしゃじはっせんにんもようぬいみすひきまく 「緋羅紗地八仙人模様繡水引幕」



笠鉾狸々の水引幕じゃ。現在は妙見祭の時には使われておらんよ。

八仙人は、中国の人々に広く親しまれている道教の8人の仙人じゃ。日本人にとっての七福神みたいなもんじゃな。仙人とは、不老不死の法を身につけた人のことで、人々のあこがれの存在だったんじゃよ。8人の組合せは時代によって変わることもあったが、男・女・老・少・貧・富・貴・賤を表す組合せになっているそうじゃ。

仙人の持ち物は、神通力を発揮するもので、持ち物だけを描いて八仙人を表すこともあるそうじゃよ。

この水引幕は、1月11日(水)から2月12日(日)までの展示じゃ!



お祭りでんでん館・博物館・松浜軒お得に入館! 3館周遊割引チケット 配付中!

お祭りでんでん館の周辺には、市立博物館と松浜軒があります。3館連携企画として、1館目に有料で入館したお客様には、もれなく『3館周遊割引チケット』というお得なクーポン券をお配りしています。このクーポン券のご利用で、他の2館を割引料金でご案内します。ぜひこの機会に、八代の文化施設をお得に周遊しませんか。

『3館周遊割引チケット』利用時の割引料金

- ▶ お祭りでんでん館 2割引(大人240円 / 高大生160円)
- ▶ 博物館 2割引(大人240円 / 高大生160円)
(※特別展期間中は料金が異なります)
- ▶ 松浜軒 1割引(大人450円 / 小中学生225円)



↑ 笠鉾蘇鉄 下屋根の上の飾り



↑ 笠鉾狸々 下屋根の飾り板



今年月千支にちなんだ笠鉾の飾りにちなんだ笠鉾の飾りについてお話をするわ(展示はしていないわよ)。
今年月は兎年よね。笠鉾の飾りに兎はあったかしら? すぐに思い浮かんだ人は笠鉾博士だわ♥
みんな知らないと思うから教えるわね。実は2基の笠鉾に兎がいるのよ。一つは笠鉾蘇鉄の下屋根の上。もう一つは...笠鉾狸々の下屋根の下の飾り板なの。知ってた?

兎は、月で餅をついているというイメージがあるけど、ついているのは不老不死の薬なのよ。
それがだんだん日本では餅をついていると考えられるようになったみたいよ。
また、兎は繁殖力が旺盛なことから、多産の象徴とも見なされたの。そして兎の「卯」の字は左右に開いた門を表していて、運が開けるといって意味があるのよ。兎はとてもおめでたい動物なの。今年一年みなさんが幸せに暮らせるといいわね。今年もお祭りでんでん館をよろしくね☆

千支にちなんだ笠鉾の装飾